

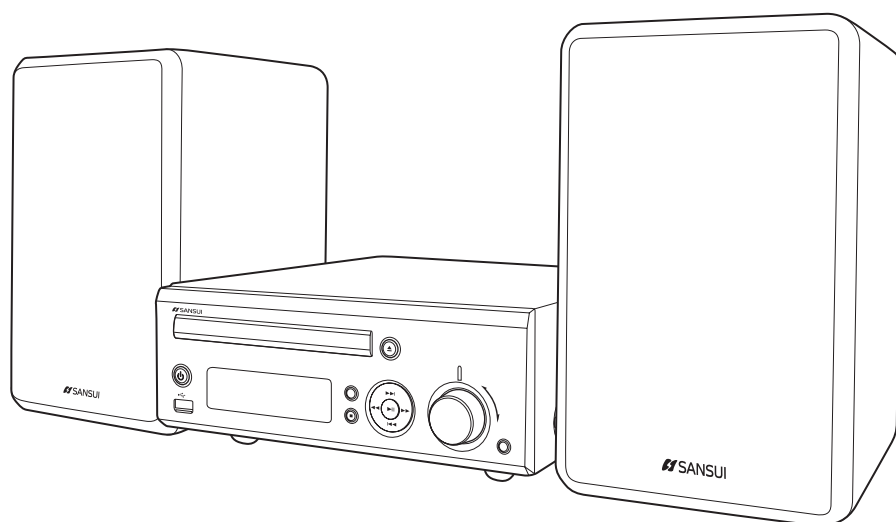
Bluetooth®機能搭載CDステレオシステム SMC-150BT

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。

も く じ

安全上のご注意	P. 2
ご使用になる前に	P. 4
各部の名称とはたらき	P. 6
使用前の準備	P. 8
正しい使いかた	P. 11
通常の操作	P. 11
CD を聴く	P. 13
USB 端子を使う	P. 18
Bluetooth® 機器を聴く	P. 19
FM ラジオを聴く	P. 21
外部入力を聴く	P. 24
便利な使いかた	P. 25
お手入れのしかた	P. 27
修理・サービスを依頼する前に	P. 28
主な仕様	P. 30
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⓪は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⓪の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 指示	取りはずした電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。
	日本国内以外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		雷が鳴り始めたら、電源プラグに触れない。 感電の危険があります。		使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤサービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源プラグを、乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。		水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ほこりの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	 指示	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。
	熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。		リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。	 指示	電池の極性に注意する 電池をセットするとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。		

ご使用になる前に

使用環境について

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、内部に水滴がついたりする結露現象が起こります。

この状態でご使用になると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、電源を入れて、1時間程度放置してください。

内部の熱で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

CD(MP3/WMA) USBメモリーについて

USBメモリー

- ・FAT32 フォーマット。

- ・USB2.0対応

本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

※本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。

- ・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。

- ・本機では、USBメモリー内のファイルを削除したり、移動することはできません。

- ・本機はUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

- ・DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。

- ・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

CD

- ・レッドブック：Audio CDフォーマット

- ・ISO9660 準拠

- ・CD-R/CD-RWに対応

本機は、CD-ROM、CD-RまたはCD-RWに記録されたMP3(MPEG-1 Audio Layer-3)/WMAファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3/WMAのディスクを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。

「CDについて」(→5ページ)もお読みください。

- ・マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

MP3

- ・正式名称をMPEG Audio Layer 3という音声圧縮の規格。

- ・MP3データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。

WMA

- ・正式名称をWindows Media Audioという音声圧縮の規格。

- ・WMAデータの認識はファイル拡張子「.wma」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.wma」を付けてください。拡張子「.wma」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.wma」を付けていてもWMAデータ形式でないファイルは再生できません。

MP3/WMA 共通事項

- ・レート 96 ~ 320 kbps (推奨)

- ・サンプリング周波数32kHz/44.1kHz/48kHz

- ・99以上のファイルまたは99以上のフォルダーが記録されたディスクまたはUSBメモリーは、正常に再生できないことがあります。

本機は、ビットレート32kbps~320kbpsのMP3/WMAを再生できます。

- ・可変ビットレートで記録されたディスクは、正常に再生できないことがあります。

- ・MP3/WMAデータの状態によっては、本機では再生できなかったり、音が途切れることがあります。

Bluetooth について

Bluetooth(ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。

- ・本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11g/b)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。

- ・本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。

- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

安全にご使用いただくために

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車・航空機

- ・自動ドアや火災報知機の周辺

- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技術マーク」が本機の銘版シールに表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようお願いいたします。

Bluetooth機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

BluetoothおよびBluetoothロゴは米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth部 仕様

適合規格	Bluetooth Ver.4.0+EDR
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP
対応コーデック	SBC
通信距離 *	(見通し) 約 10 m *
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

CD について

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、曇ったりする結露現象が起こります。
この状態で使用になると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して、1時間程放置してください。

ディスク使用上の注意

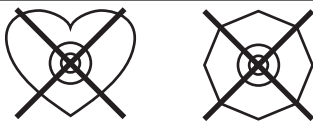


ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。



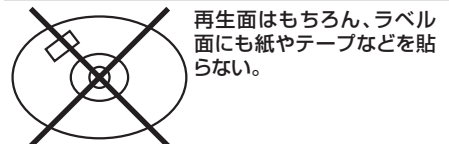
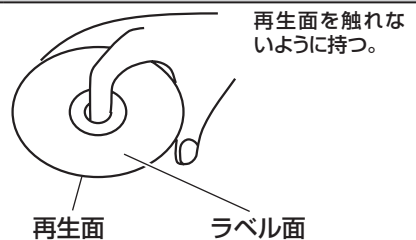
ディスクに上記のマークが入ったものをご使用ください。



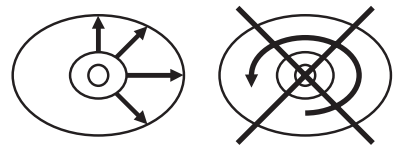
ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない。

機器の故障の原因となります。

ディスク取り扱い上の注意



ディスクに指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取る。



長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管する。

※クラス1レーザ製品です。

ボタン電池について

ボタン電池を扱うときには

- ・指定以外のボタン電池は使用しない。
- ・極性表示を間違えないで挿入する。
- ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
- ・液漏れがおきたら使用しない。
ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。
万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・長時間使用しないときは、ボタン電池をはずしておく。
- ・使用後は、必ず各自治体の指示に従って処分する。

免責事項について

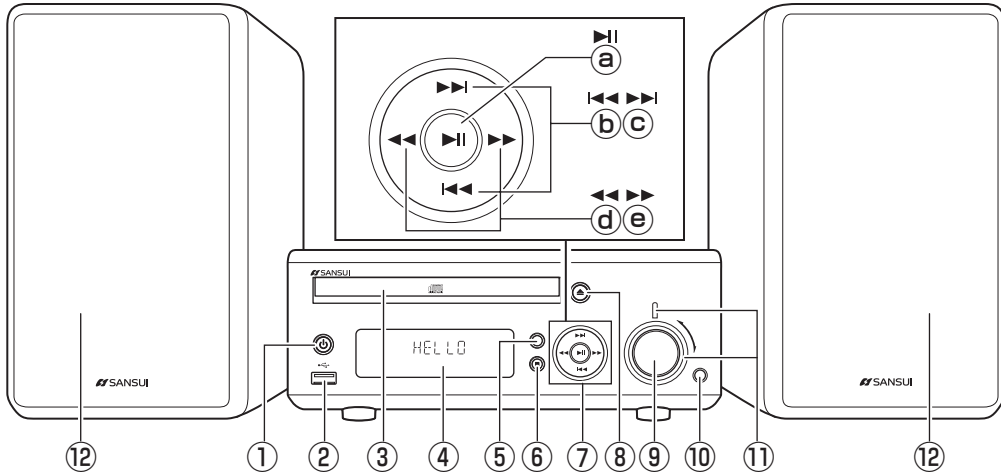
お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるディスク等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき

本体

前面

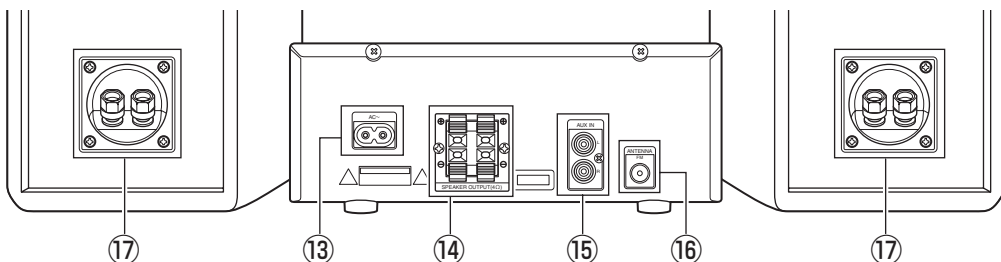


名称	機能
前面	
① 電源ボタン	電源を入／切します 電源ランプを内蔵しています
② USB端子	USBメモリーと接続して音楽を聴くことができます
③ CDトレイ	CDをセットします
④ ディスプレイ部	入力モード、再生時間など各種情報が表示されます
⑤ 入力切替ボタン SOURCE	入力切替をします CD → USB → Tuner(FM) → Bluetooth(BT) → AUX → CD
⑥ 停止ボタン[■]	再生中の曲を停止させます FMのオートスキャンを停止させます
⑦ 操作ボタン	
⑧再生／一時停止ボタン	再生・一時停止を行ないます
⑨⑩	⑨前の曲に、再生中は曲の始めに戻ります
スキップボタン	⑩次の曲に、最後の曲のときは最初の曲にスキップします
(チューナー操作時)	プリセット局を順に選局します
⑪⑫	⑪早送り早戻しボタン
(チューナー操作時)	長押しすると⑪早送り⑪早戻しします
	チューナー周波数を0.1MHzずつ増減します(長押しで自動選局)
⑧ CDトレイ開閉ボタン	CDトレイを開閉します
⑨ 音量つまみ	音量を調節します
⑩ リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します
⑪ LED	音量つまみを回したりすると点灯します
⑫ スピーカー	音を出します

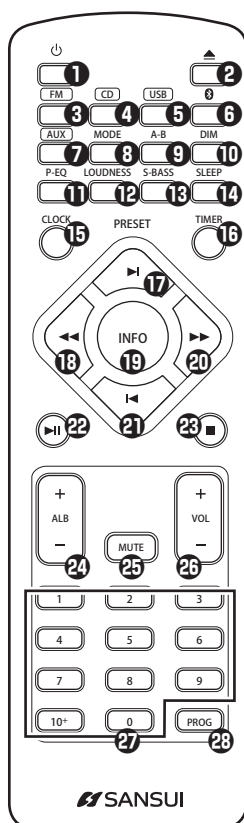
裏面

⑬ 電源端子	本機用の電源コードを接続します
⑭ スピーカー出力端子	付属のスピーカーケーブルを使用してスピーカーに接続します
⑮ 外部入力端子	アナログ2チャンネルの音声信号を入力します
⑯ FMアンテナ端子	付属のFMアンテナ線を接続します
⑰ スピーカー入力端子	付属のスピーカーケーブルを使用して接続します

裏面



リモコン



※ボタン名が**太字**のものは本体の操作部にも同じ機能を持ったボタン・つまみがあります。

名称	機能
リモコン	
① 電源ボタン	電源を入／切（スタンバイ）します
② ▲ CDトレイ開閉ボタン	CD トレイを開閉します
③ FM FMボタン	FMモードにします（FMを受信します）
④ CD CDボタン	CDモードにします（CDを再生します）
⑤ USB USBボタン	USBモードにします（接続したUSBメモリーから再生します）
⑥ BT BTボタン	BTモードにします（接続したBluetooth機器から再生します）
⑦ AUX AUXボタン	AUX モードにします（外部入力接続した機器から再生します）
⑧ MODE モードボタン	CD/MP3/WMA リピート再生モード切替、FMステレオ／モノラル切替をします
⑨ A-B A-Bボタン	A-B 間リピートをします
⑩ DIM DIMボタン	液晶の明るさを変更します
⑪ P-EQ P-EQボタン	音質を変更します POP → JAZZ → ROCK → CLASSIC → FLAT → POP
⑫ LOUDNESS LOUDNESSボタン	小音量時に押すと高音と低音が増幅されます
⑬ S-BASS S-BASSボタン	低音が強調されます
⑭ SLEEP スリープボタン	設定した時間後に電源が切れます 120/90/60/45/30/15/OFF (分)
⑮ CLOCK CLOCKボタン	現在時刻を表示します 現在時刻の設定に使用します
⑯ TIMER タイマーボタン	オンタイマーの設定に使用します
⑰⑱ 再生／一時停止ボタン	1曲先に進めます／1曲前に戻ります 数値の増減にも使用します
⑲⑳ 早戻し／早送りボタン	曲を早戻しします／曲を早送ります ラジオの選局にも使用します
㉑ INFO INFOボタン	表示を切り替えます MP3/WMA ではアルバム名など情報を表示します
㉒ 再生／一時停止ボタン	再生または一時停止します
㉓ 停止ボタン	再生中の曲などを停止します BTモードでは長押しでペアリング解除します
㉔ ALB+ ALBボタン	MP3/WMA再生するときのフォルダー（アルバム）変更に使用します
㉕ MUTE 消音ボタン	音量を一時的に0（無音状態）にします
㉖ VOL+ 音量ボタン	音量を設定します
㉗ 1~0,10+ 数字ボタン	曲番号を入力します
㉘ PROG プログラムボタン	FMモードで放送局のプリセット、CD/USBでプログラム再生に使用します

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1 個
スピーカー	2 個
リモコン	1 個
ボタン形リチウム電池 (CR2025) (出荷時、リモコンに装着済)	1 個

スピーカーケーブル	2 本
FM アンテナ	1 本
電源コード	1 本
取扱説明書 (保証書含む)	1 冊

スピーカーと電源コードの取り付け

1. 付属のスピーカーケーブルを本体後面のスピーカー出力端子に接続する

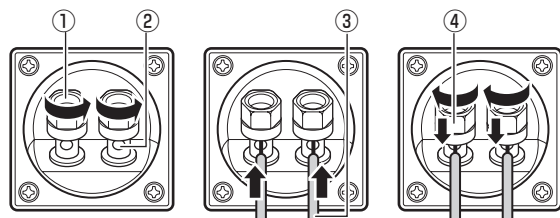
赤色を＋、黒色を－にして右・左とも接続してください。

赤色または黒色のツメを押し、同じ色のスピーカーケーブルの心線部分 (導線) を開いた穴に通し、押していたツメを戻してケーブルがはさまれる (固定される) のを確認してください。

※ ケーブルの心線部分 (導線) が内部の金属部分に触れず、皮膜部分で固定されると、音声信号が流れず、音が鳴りません。

2. スピーカーの裏側のスピーカー入力端子にスピーカーケーブルを接続する

本体後面のスピーカー出力端子と同じチャンネル (右・左) であることを確認して接続してください。



①②スピーカー裏側にあるスピーカー入力端子のねじをゆるめ①、下に穴が開いているのを確認します②。

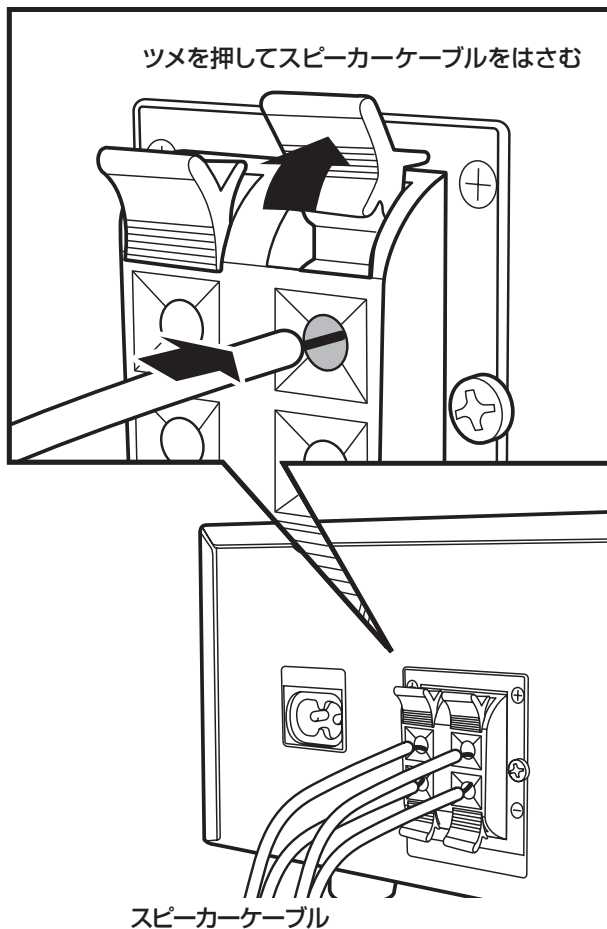
③ スピーカー入力端子の色に合わせて、穴に＋と－ (赤色と黒色) それぞれスピーカーケーブルの先端を入れます。

④ そのまま押さえつけるようにスピーカー入力端子のねじをしめてください。

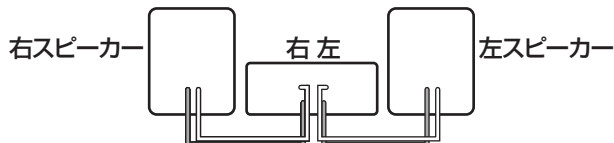
※ 軽く引っ張ってみて、はずれないことを確認してください。

※ ケーブルの心線部分 (導線) が内部の金属部分に触れず、皮膜部分で固定されると、音声信号が流れず、音が鳴りません。

ツメと同じ色のスピーカーケーブルを接続します (上は赤・下は黒)

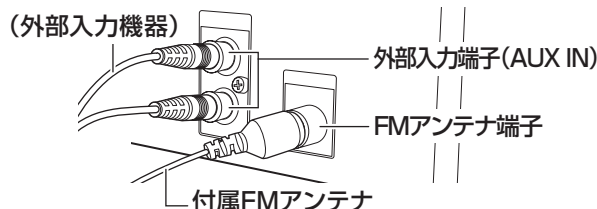


《背面から見た接続図》



3. FMアンテナ端子に付属のFMアンテナを取り付け、受信状態が一番良い位置を探して、壁や柱に画びょうなどで貼り付ける

詳細は「FM ラジオを聴く」(→ 21 ページ)



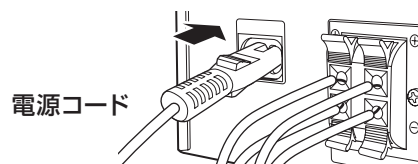
注意 FM アンテナ線は、子供の手の届く範囲に貼り付けない。アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。

4. 外部入力端子 (AUX IN) に外部入力機器を接続する

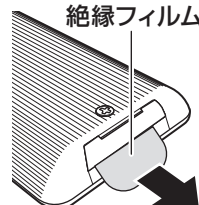
詳細は「外部入力を聴く」(→ 24 ページ)

5. 本体の電源端子に付属の電源コードを取り付けて電源プラグをコンセントに差し込む

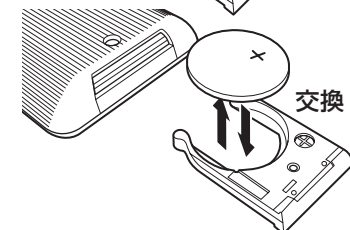
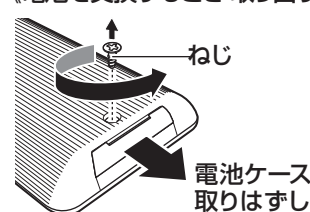
通電すると、本体のディスプレイ部に「---:---」が点滅表示されます。



《使用開始するとき》
絶縁フィルム



《電池を交換するとき・取り出すとき》



- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く。火災、事故などの原因になります。
- めれた手で電源プラグを扱わない。感電、火災、故障の原因になります。

リモコンの準備

リモコンには電池が装着済ですので、絶縁フィルムを引き出してご利用ください。

※ 付属の電池は動作確認用です。新品の電池と比べて短期間で寿命になります。

リモコンの電池交換のしかた

ボタンを押しても動作しなかったり、動作が不安定なときには、新しい電池 (CR2025) を用意して、以下の方法で電池を交換してください。

1. 電池ケースのねじをお持ちのドライバーで取りはずし、電池ケースを引き出す

※ ねじを取りはずすドライバーは、適切なサイズのドライバーをご使用ください。

2. 古い電池を取り出し、電池の向き (⊕ ⊖) に注意して新しい電池を電池ケースに入れる

• 電池の⊕側を上にして入れてください。

3. 電池ケースをリモコンに差し込み、電池ケースのねじを取り付ける

リモコン使用可能範囲

- 本体正面から直線で約 5 m
- 本体正面から上下左右に約 30 度

※ 次のようなとき、正しくリモコンが動作しないことがあります。

- リモコンと本機の間には障害物があるとき
- 直射日光や蛍光灯の強い光が受光部に当たっているとき
- 赤外線を出す機器の近くで使用したとき



- 長時間使わないときは、電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕ ⊖ を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。
- 電池を子供が飲み込んだりしないように必ず電池ケースにねじを取り付ける。

使用前の準備（つづき）

時計を合わせる

電源プラグをコンセントに接続すると、ディスプレイ部には「--:--」が点滅表示されます。
リモコンを使用して、時計を合わせてください。

1. スタンバイ状態でリモコンの **CLOCK** ボタンを長押しする

ディスプレイ部に「CLOCK SET」と表示されます。

2. 12時間表示・24時間表示を選択する

「CLOCK 24H」と表示されます。

- 24 時間表示に変更するときは ボタンを押して「CLOCK 24H」と表示させます。
 - 12 時間表示に変更するときは ボタンを押して「CLOCK 12H」と表示させます。
- CLOCK** **CLOCK** ボタンを押して確定させます。
※設定をやめるときは 停止ボタンを押す、または90秒以上そのままにしておきます。

3. リモコンの スキップ+ボタン・ スキップ-ボタン・**CLOCK** **CLOCK** ボタンで時・分を設定する

- 「時」を設定後、**CLOCK** **CLOCK** ボタンを押すと「分」を設定することができます。
 - 本体の音量つまみ、リモコンの **VOL+** 音量ボタンでも数値の増減をすることができます。
 - 「分」を設定後、**CLOCK** **CLOCK** ボタンを押すことで計時を開始します。
- ※設定をやめるときは 停止ボタンを押す、または90秒以上そのままにしておきます。

ふたつのスタンバイ状態

本機には電源が切れた状態がふたつあります。

・ 通常のスタンバイ状態

終了時に「BYE BYE」と表示されます。
スタンバイ状態では常に時計を表示します。

・ エコパワー・スタンバイ状態

終了時に「ECOPOWER」と表示されます。
スタンバイ状態では青い電源ランプのみ点灯します。

これらを切り替えるには、電源切状態で「 電源ボタン」を長押しします。長押しすると、「青い電源ランプ」のみ点灯 ← 「時刻表示」状態（エコパワー・スタンバイ） ↔ 通常のスタンバイが切り替わります。
または、通常のスタンバイ状態で1分30秒経過したとき、自動的にエコパワー・スタンバイ状態になります。

オートパワーオフ

本機は以下の状態で15分以上操作しないと自動的に電源をスタンバイ状態に切り替えます

- 再生を停止したとき
- 再生を一時停止しているとき

時計を確認する

エコパワー・スタンバイ状態ではディスプレイ部には何も表示されていませんが、リモコンの **CLOCK** **CLOCK** ボタンを押すことで現在時刻を見ることができます。

1. スタンバイ状態でリモコンの **CLOCK** **CLOCK** ボタンを押す

画面に現在時刻が表示されます。

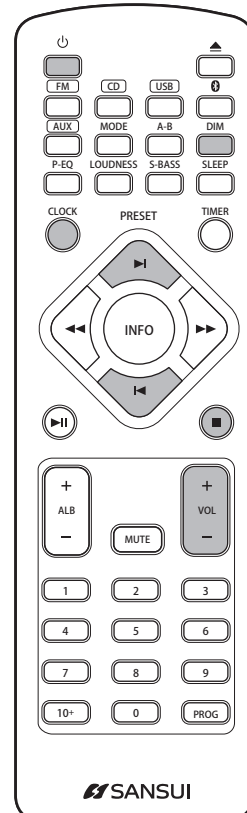
※ **TIMER** の設定が有効になっているかなど確認できます（→ 25 ページ）。

ディスプレイ部の明るさを調節する

ディスプレイ表示が明るすぎるときなど、お好みの明るさに表示を変えることができます。

1. リモコンの **DIM** **DIM** ボタンを押す

DIM **DIM** ボタンを押すたびにディスプレイ部の表示の明るさが変化します。



正しい使いかた

通常の操作

1. 本体またはリモコンの **電源ボタン** 押して電源を入れる

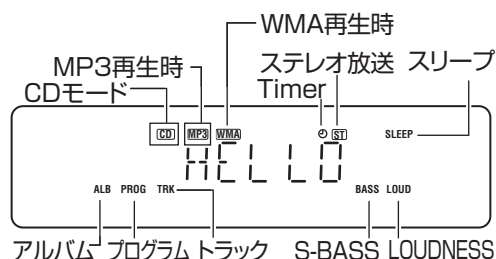
電源が入ると、ディスプレイ部の表示が始まります。
※ディスプレイの明るさは、リモコンの **(DIM)** DIM ボタンで変更することができます。

2. 本体の音量つまみ、またはリモコンの **(VOL+)** 音量ボタンで音量を調節する

入力モードによって自動的に再生が開始されるため、音量を調節します。

- 音量が 5 以下で電源を入切すると、音量 5 に戻ります。音量が 6 以上のときは、設定した音量で出力されます。
- 音量つまみを回すと、青色の LED が点灯します（しばらくすると消灯します）。

ディスプレイ表示《例》



※同時にすべてが点灯するとは限りません。
※すべての表示ではありません。



注意 電源投入直後、本機では既に音量が設定されているので、十分注意する。

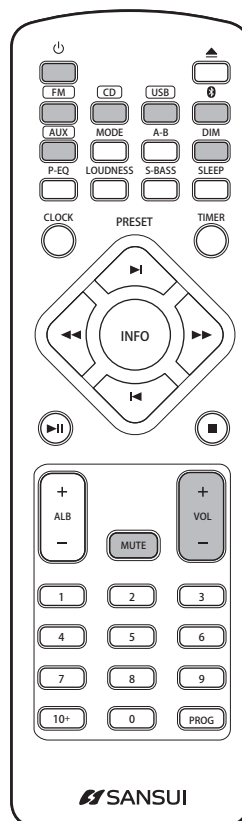
3. 消音するときにはリモコンの **(MUTE)** 消音ボタンを押す

リモコンの **(MUTE)** 消音ボタンを押すと音量 0 になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 消音中に本体の音量つまみを回したり、リモコンの **(VOL+)** 音量ボタンを押すと、消音は解除されます。

4. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタン、またはリモコンの各入力ボタン (**FM**、**CD**、**USB**、**Bluetooth**、**AUX**) を押してモードを切り替える

- 本体の **SOURCE** 入力切替ボタンを押すたびに、**CD → USB → FM → Bluetooth → AUX → CD...**とモードが切り替わります。
- 接続している機器によって、モードの切り替えをするのに、（音を出すまでに）時間がかかることがあります（USB モードなど）。



正しい使いかた（つづき）

通常の操作（つづき）

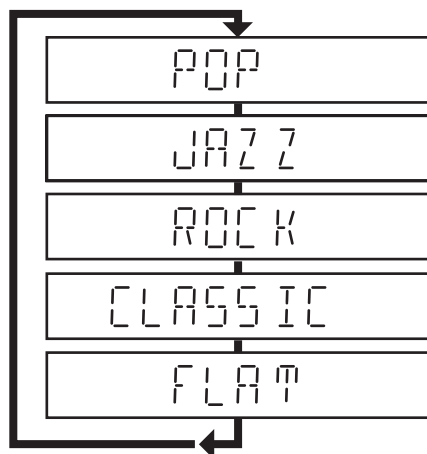
5. 音質を変えたいときはリモコンの

(P-EQ) P-EQボタンを押す

好みの音質でお楽しみいただける、5 パターンのイコライザー機能が内蔵されています。

・リモコンの **(P-EQ)** プリセットイコライザーボタンを押すたびに、ポップス (POP) → ジャズ (JAZZ) → ロック (ROCK) → クラシック (CLASSIC) → フラット → ポップス (POP) ... と音質が切り替わります。

P-EQ



6. 小さい音で聴くとき、高音・低音を増強した音にしたいときは、**(LOUDNESS)** LOUDNESSボタンを押す

小音量時は、高音・低音が貧弱な音になってしまいます。**(LOUDNESS)** LOUDNESS ボタンを押すと、高音・低音が増強されます。

※イコライザー機能(P-EQ)やS-BASS機能と併用できません。

7. 低音を増強した音にしたいときは、

(S-BASS) S-BASSボタンを押す

(S-BASS) S-BASS(スーパーバス) ボタンを押すと、低音が強調されます。

※イコライザー機能(P-EQ)やラウドネス機能と併用できません。

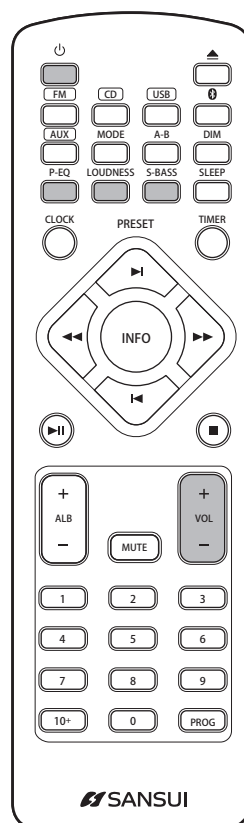
8. 聴き終わったら、**(-VOL+)** 音量ボタンで音量を最小にして、本体またはリモコンの **(電源)** 電源ボタンを押してスタンバイ状態にする

・スタンバイ状態では Bluetooth の接続は切断されます。

9. 長期間使用しないときは本体の電源プラグをコンセントからはずす

電源プラグをコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。

・CD、USB メモリーなど装着したままにしないでください。



警告

使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。



注意

電源プラグをコンセントから抜くと、現在時刻がリセットされるため、十分注意する。
再度設定が必要になります。

CD を聴く

通常再生をする

1. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタンまたはリモコンの **CD** ボタンを押して **CDモード** に切り替える

「DISC」表示が出たあと、「READ」表示が出ます。CDが挿入されていないと、「NO DISC」表示が出ます。

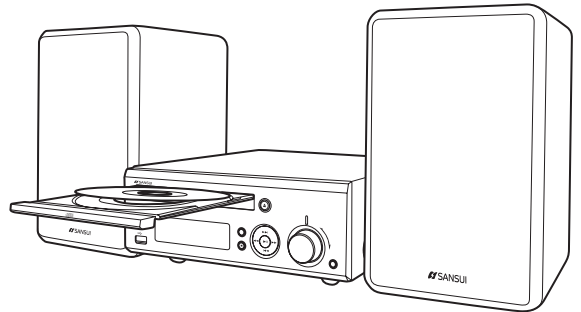
2. 本体またはリモコンの **▲CDトレイ開閉ボタン**を押してCDトレイを開け、**CDを載せる**

CDトレイを開くと、「OPEN」表示が出ます。ラベル面を表（上）にしてトレイに載せます。

- CD は、CDトレイのへこんだ部分にきちんと載せてください（特に 8cm CD）。
- トレイは CD を載せる部分すべてが出てくるわけではなく、本体側 2 割程度本体内に隠れるようになります。
- CDトレイに指やものなどをはさまないように注意してください。
- USB 端子に機器を接続しているときは、ご注意ください。

※ CDトレイまたはCDの損傷や妨害などの故障を避けるために、必ずCDトレイの中央に正しくセットしてください。

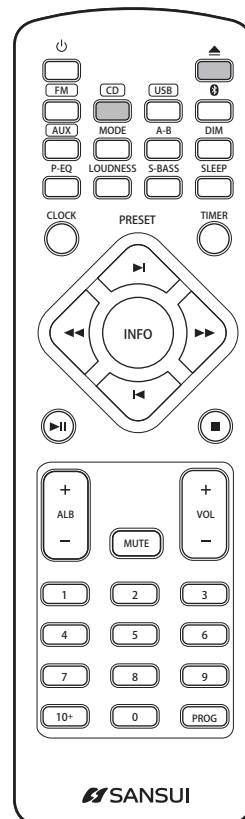
※「CDについて」(→5 ページ)もご覧ください。



- CDトレイの開閉は、必ず本体またはリモコンの開閉ボタンで行なう。破損の原因となります。
- 音楽 CD、MP3/WMA CD 以外入れない。
データ CD や DVD などを入れると、異音が発生することがあり、スピーカーや耳を痛め、故障の原因になります。

3. 本体またはリモコンの **▲CDトレイ開閉ボタン**を押してCDトレイを閉める

CDトレイを閉めると「READ」表示が出て、CDを読み始めます。



正しい使いかた（つづき）

CD を聴く（つづき）

4. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

曲番号 1 から演奏が開始（再生）されます。

- ディスプレイ部には曲番号と経過時間が表示されます。
- CD 再生中は「CD」が点灯します。

※ 本機はレジューム機能を搭載していません。
電源を切ると最初の曲から再生されます。

曲を進める スキップ+ボタン

- 再生中に  スキップ+ボタンを 1 回押すごとに次の曲に進みます。
- 最後の曲の次は、最初の曲に戻ります。

曲を早送りする 早送りボタン

- 再生中に  早送りボタンを長押しすると聴いている曲が早送りされます。
-  早送りボタンを離すと普通の再生状態に戻ります。

曲を戻す スキップ-ボタン

- 再生中に  スキップ-ボタンを 1 回押すと曲の最初に戻ります（再生開始直後は除く）。
-  スキップ-ボタンを 1 回押すごとに 1 曲戻ります。

曲を早戻しする 早戻しボタン

- 再生中に  早戻しボタンを長押しすると聴いている曲が早戻しされます。
-  早戻しボタンを離すと普通の再生状態に戻ります。

一時停止する 再生／一時停止ボタン

- 再生中に  再生／一時停止ボタンを押すと演奏が一時停止します。
- もう一度  再生／一時停止ボタンを押すと演奏が再開します。

停止する 停止ボタン

- 再生中に  停止ボタンを押すと演奏が停止します。 停止ボタンで演奏を停止させたあと、次に  再生／一時停止ボタンを押すと最初の曲から再生が始まります。

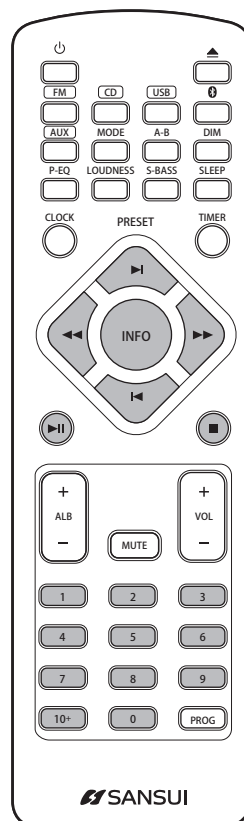
曲を直接選曲する 数字ボタン

-  数字ボタンを押すとその番号の曲（CD の「トラック」）が演奏（再生）されます。
- 押した数字の曲が実際には入力することはできません。

※ 「インデックス（トラックのハイフン以下）」を指定することはできません。

表示を切り替える INFO ボタン

-  INFO ボタンを 1 回押すごとにディスプレイ部の時間表示が、現在再生されている曲の経過時間→曲の残り時間→CD の経過時間→CD の残り時間→曲の経過時間... と切り替わります。



特殊再生をする 1

1 曲繰り返し・全曲繰り返し

本機では繰り返し再生ができます。

1. 再生中または停止中に、リモコンの (MODE)モードボタンを押して再生モードを選択する

ディスプレイ部の右端に REP のマークが切り替わり表示されます。

2. 繰り返し再生をやめるには、(MODE)モードボタンを何度か押して REP 表示を消灯させる

A-B (曲の範囲指定繰り返し機能)

本機では曲の任意の時間から任意の時間までを繰り返し再生ができます。

1. 再生中に、リモコンの (A-B) A-B ボタンを押して開始時間を設定する

繰り返し再生の開始時間（開始させたい箇所）まで再生または早送り・早戻しなどを使って移動させ、(A-B) A-B ボタンを押すと右図のような「A -」画面が表示されます。

2. リモコンの (A-B) A-B ボタンを再度、押して終了時間を設定する

繰り返し再生の終了時間（終了させたい箇所）まで再生または早送り・早戻しなどを使って移動させ、(A-B) A-B ボタンを押すと右図のような「A - B」画面が表示されます。

・同じ曲内で有効です。曲をまたいで設定することはできません。

3. 終了時間が設定されると、そのまま繰り返し再生が行なわれる

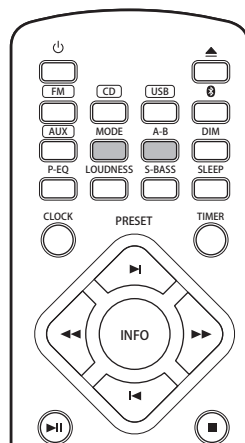
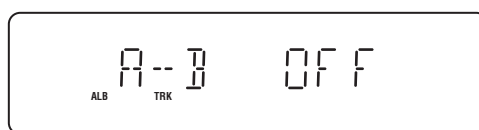
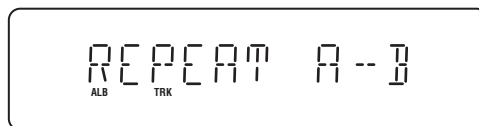
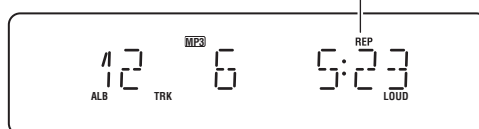
4. 再度リモコンの (A-B) A-B ボタンを押すと、A-B再生は終了する

ディスプレイには [A - B OFF] と表示されます。

(MODE)モードボタンを押すたびに	ディスプレイの表示
通常再生	(消灯)
1 曲繰り返し再生	🔁 (点滅)
フォルダー 繰り返し再生	🔁 🔁 (点滅)
全曲繰り返し再生	REP (点灯)

ディスプレイ表示《例》

モード(繰り返し)



正しい使いかた（つづき）

CD を聴く（つづき）

特殊再生をする 2

PROGRAM(プログラム)機能・ 曲の順番を決めて聴く

本機では、CDに記録されたMP3/WMAファイル、CD、USBに記録されたMP3/WMAファイルから、お好みの順番で再生させることができます。

※プログラム：お好みの曲目・曲の順番

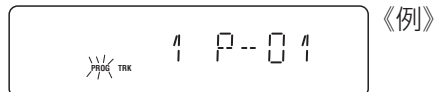
1. 本体の SOURCE 入力切替ボタン、リモコンの **CD** CDボタンを押してCDモードに切り替える

実際は USB でもプログラム機能を使うことができます。

・CDとUSBの曲を混在させることはできません。

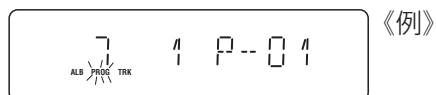
2. 自動で再生が開始されるため、**■** 停止ボタンで再生を停止させ、**PROG** プログラムボタンを押す

ディスプレイ部の「PROG」が点滅します。



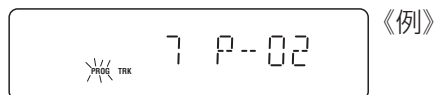
・再生中に **PROG** プログラムボタンを押すと、「STOP FIRST」と表示されます。

3. MP3/WMAファイルのときは **ALB+** ALBボタンでフォルダーを選択する



4. **▶◀** スキップボタンまたは **1~0,10+** 数字ボタンで再生する曲を選び **PROG** プログラムボタンを押す

1曲目として登録されます。



5. 順に選曲して **PROG** プログラムボタンを押すことを繰り返す

PROG プログラムボタンを押すことで曲が登録されます。

- ・最大 20 曲まで登録することができます。21 曲目を登録しようとする、「FULL」表示が出て、そのままプログラム再生が始まります。
- ・途中の曲の変更などすることができません。16

6. **⏮** 再生／一時停止ボタンを押して再生する

プログラム再生中は通常の曲のように早送り・早戻し、次の曲、前の曲、一時停止と自由に操作することができます。

7. リモコンの **MODE** モードボタンを押してプログラムの再生モードを選択する

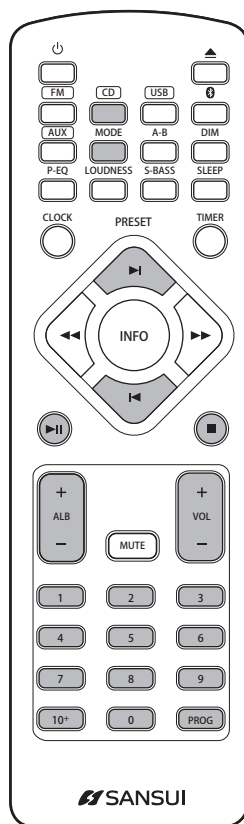
MODE モードボタンで作成したプログラムを繰り返し再生、もしくは 1 曲のみ再生させることができます。

プログラムの消去

停止中に再度 **■** 停止ボタンを押すと、「PROGRAM CLEARED」と表示され、プログラムが消去されます。

・ディスプレイ部の「PROG」が消えます。

※CD(USB)モードから他のモードへの切替、**⏻** 電源ボタンを押す、**⬆** ディスクの取り出しなどの操作、USBメモリーの取りはずしをしてもプログラムは消去されます。



CDのMP3/WMAファイルを聴く

本機では、CD に記録された MP3/WMA ファイルも再生することができます。

通常のCDの再生方法と同じ操作をします。

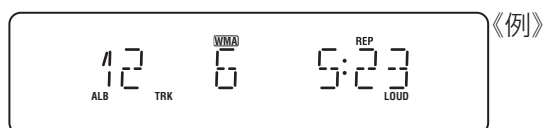
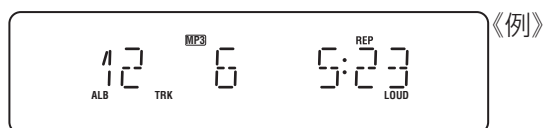
1. 通常のCDの再生と同様に、本体の SOURCE 入力切替ボタンまたはリモコンの **CD** ボタンを押してCDモードに切り替え、CDをトレイに載せる

2. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

ディスプレイ部にはフォルダー番号と曲番号経過時間が表示されます。

MP3 ファイル再生中は「MP3」が点灯します。

WMA ファイル再生中は「WMA」が点灯します。



- リモコンの **ALB** ボタンで曲の入っているフォルダー（アルバム）を選択することができます。
- **停止ボタン**で演奏を停止させると、次に **再生／一時停止ボタン**を押したとき、最初の曲から再生が始まります。
- **INFO** ボタンを押すと、MP3/WMA にある曲の情報（曲名・アルバム名・アーティスト名）を表示することができます（英数字のみ、日本語などは正しく表示されません）。

MP3/WMA ファイルの再生順番について

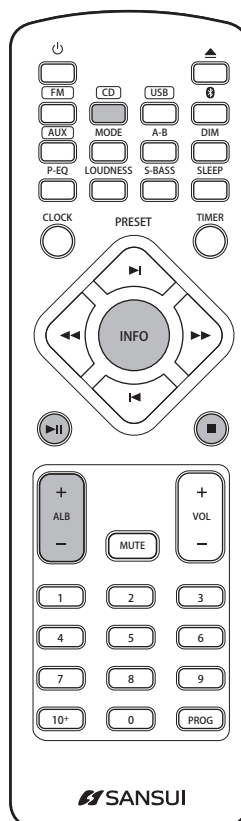
- 複数のフォルダーに MP3/WMA ファイルを書き込むと、各フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。
フォルダー番号の若い順に再生します。
- 書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。
予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。

※「CD(MP3/WMA) USB メモリーについて」(→4ページ)、「CDについて」(→5ページ)もお読みください。



注意

ファイルに適切な拡張子（MP3は [.mp3]、WMAは [.wma]）を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音が発生する恐れがあります。



正しい使いかた（つづき）

USB 端子を使う

USBメモリーに記録されたMP3/WMAの音楽を聴く

本機では、USBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。通常のCDの再生方法と同じ操作をします。

1. USB端子にUSBメモリーを接続する
2. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタンまたはリモコンの **USB** USBボタンを押してUSBモードに切り替える
3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

リモコンの操作ボタンを使用して、CD同様の操作をすることができます。

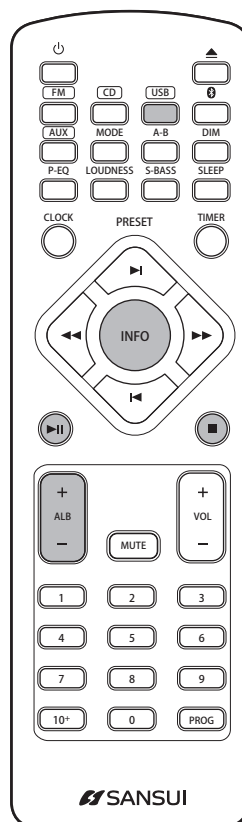
- リモコンの **ALB** ボタンで曲の入っているフォルダー（アルバム）を選択することができます。
- **停止ボタン**で演奏を停止させると、次に**再生／一時停止ボタン**を押したとき、最初の曲から再生が始まります。総曲数が多いと、曲を探すのに時間がかかるため、慎重に操作してください。
- **INFO** ボタンを押すことで、MP3/WMAにある曲の情報（曲名・アルバム名・アーティスト名）を表示することができます（英数字のみ、日本語などは正しく表示されません）。

注意

- ファイルに適切な拡張子（MP3は[.mp3]、WMAは[.wma]）を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。
- USBメモリーの抜き差しをするときには、（金属にさわるなどして）体の静電気をなくしておく。
空気が乾燥して静電気が起こりやすい環境のとき、USBメモリーを扱うと、データを破壊してしまうことがあります。

本機でスマートフォンや携帯電話の充電はできません
エコパワー・スタンバイ状態では通電しなくなり、充電に適した状態ではありません。充電されるときは、本機以外に接続してください。

USB



Bluetooth® 機器を聴く

Bluetooth 機器の設定

- Bluetooth デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
 - ペアリングするときは、両方の機器を 1m 以内に置いてペアリング設定をしてください。
 - 本機は一度に 1 つの Bluetooth 機器しか接続できません。
- 本機は以下の手順で Bluetooth 機器と接続（ペアリング接続）することができます。

Bluetooth機器との初めての接続

1. ペアリングしたいBluetooth対応機器の電源を入れる

BT モードにしておきます。

2. 本体の SOURCE 入力切替ボタン、リモコンの BT ボタンを押してBTモードに切り替える

ディスプレイ部には「BT」と表示され、接続されていない状態では、「DISCONNECT」を表示しています。

《例》

BT DISCON

3. 接続するBluetooth対応機器のサーチ機能を利用して、本機の製品名「SMC-150BT」を検索する

検索が完了すると、接続する外部機器のディスプレイに「SMC-150BT」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

※ ペアリング接続・設定方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

4. 接続が成功すると、ピッと音がして「BT」以外表示されなくなる

Bluetooth 機器がペアリングのときに PIN コードが要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力します。

接続されると、短い音が流れます。

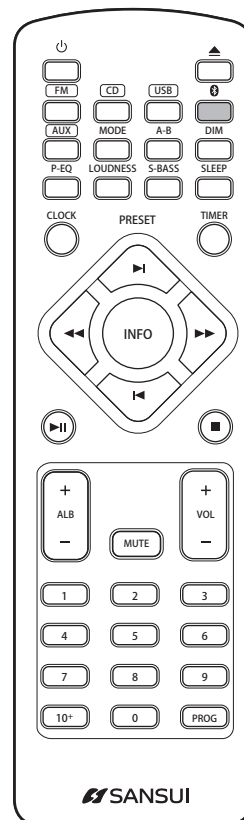
《例》

BT

Bluetooth機器との2回目以降の接続

ペアリングをした Bluetooth 対応機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth 機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

※ 接続する Bluetooth 対応機器によっては、自動的に接続されないことがありますが、本機の故障ではありません。



注意

本機はSCMS-Tに対応していません。
接続するBluetooth対応機器がSCMS-T対応のときは、ご使用になれないことがあります。
詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご確認ください。

正しい使いかた（つづき）

Bluetooth® 機器を聴く（つづき）

別の Bluetooth 機器との接続

別の接続機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は他の Bluetooth 機器とは 1 台に 1 台の端末しか同時に接続できません。

1. 接続していた外部機器の Bluetooth 機能をオフにする

- ・外部機器に表示されている、本機機種名「SMC-150BT」の登録を解除します。

2. 別の外部機器と「Bluetooth 機器との初めての接続」を行なう

3. 接続できないときは、リモコンの 停止ボタン（ペアリングボタン）を長押ししてみて、再度「Bluetooth 機器との初めての接続」を行なう

※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 接続の設定をしてあると、本体と Bluetooth 機器との間にケーブル接続なしに Bluetooth 機器の音楽を楽しむことができます。

1. 「Bluetooth 機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく

2. 本機と Bluetooth 機器が接続していることを確かめる

※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

3. 本機に接続した Bluetooth 機器で再生を始める

本機のリモコンで Bluetooth 機器のコントロールができます。

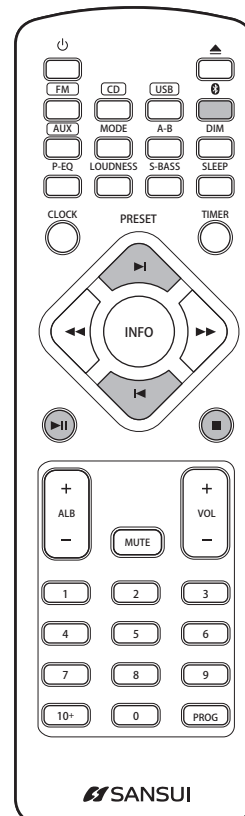
本機のリモコンで操作できる Bluetooth 機器の機能

- 停止ボタン
- ⏮ 再生／一時停止ボタン
- ⏭ スキップボタン
- ⏭+ スキップ＋ボタン

（接続される機器のプロファイルによります）

このコントロールする機能は、Bluetooth の AVRCP プロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

※ また AVRCP プロファイル対応機器でもこのコントロールに対応しない機器や、対応するコントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない機器があります。



FM ラジオを聴く

FM ラジオを聴く

本機はFMラジオ放送を聴くことができます。
76～108MHzの受信ができ、ワイドFM（FM補完放送）に対応できます。
受信状態が悪いときは、本体に取り付けたFMアンテナの向きなどを調整してください。

1. 本体のSOURCE入力切替ボタン、リモコンのFMボタンを押してFMラジオモードに切り替える

放送局のプリセットがされていないときはディスプレイ部に「AUTO INSTALL…」と表示され、再生・一時停止ボタンを押すと自動プリセットが開始されます。

自動プリセットを行ないたくない場合は、停止ボタンを押すと通常の受信画面が表示されます。

※放送局のプリセットがされていないときは、電源の入切、入力切替で再度FMラジオモードに切り替えたときに「AUTO INSTALL…」が表示されます。

※「AUTO INSTALL…」表示中、45秒以上操作をしないと、通常の受信画面になります。

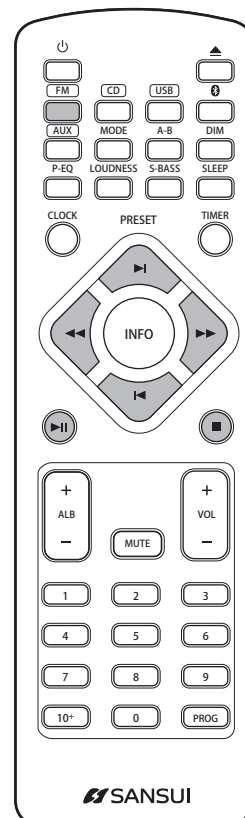
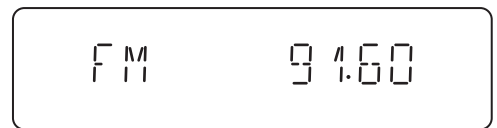
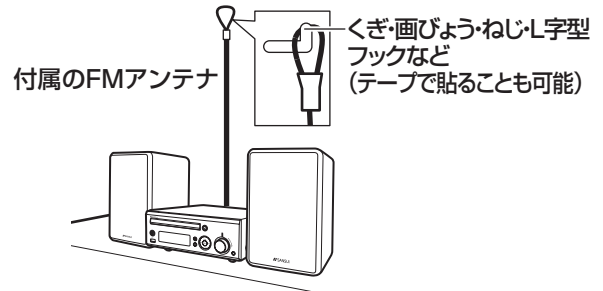
2. プリセットされた局を聴くときは、本体またはリモコンのスキップ+ボタン、スキップ-ボタンでプリセット局を選局する

3. 《自動選局》◀◀早戻しボタンまたは▶▶早送りボタンを長押しすると自動選局が始まり、放送が受信されると自動的に止まる

- ・自動選局が始まったら指を離してください。放送局を受信すると自動的に止まります。
- ・聴きたい放送局が見つかるまで繰り返してください。

4. 《手動選局》◀◀早戻しボタンまたは▶▶早送りボタンを短く押すと一定のステップで選局ができる

押すたびに0.1MHzごと増減して手動選局ができます。聴きたい局が見つかるまで繰り返してください。



正しい使いかた（つづき）

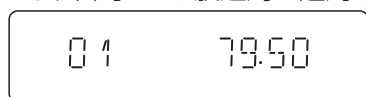
FM ラジオを聴く（つづき）

5. 《自動プリセット》リモコンの **PROG** プログラムボタンを長押しする

ディスプレイ部に「AUTO」と表示され、「PROG」が点滅し、自動プリセットが開始します。



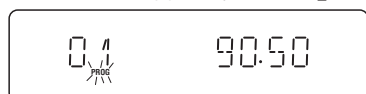
自動プリセットが終了すると、ディスプレイ部に「PROGRAM COMPLETE」と表示され、プリセット番号01の放送局が選局されます。



《例》

6. 《手動プリセット》プリセットしたい放送局を選局したあと、リモコンの **PROG** プログラムボタンを押す

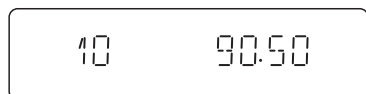
ディスプレイ部で「PROG」が点滅します



《例》

7. 「PROG」点滅中に **1~0,10+** 数字ボタンまたは **スキップ+ボタン** **スキップ-ボタン** を使ってプリセット番号を指定し、リモコンの **PROG** プログラムボタンを押す

指定したプリセット番号に放送局が登録されます。



《例》

プリセットは最大 20 局まで可能です。

プリセットをするときの注意

- ・プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態で自動プリセットするようにしてください。
- ・プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにします。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。
- ・自動プリセット中は、他の操作はできません。自動プリセット終了まで操作するのはお待ちください。

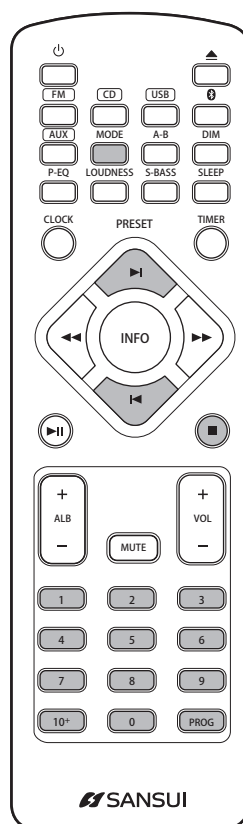
プリセット局の消去

ディスプレイ部にプリセット局を表示しているときに、**停止ボタン**を長押しして離すと、ディスプレイ部に「DELETED」と表示され、表示されていたプリセット局が消去されます。

1. 本体またはリモコンの **スキップ+ボタン** **スキップ-ボタン** でプリセット局を選局する

2. **停止ボタン**を長押しして離すと、プリセット局が消去される

ディスプレイ部に「DELETED」と表示されたあと、通常の表示に戻ります。

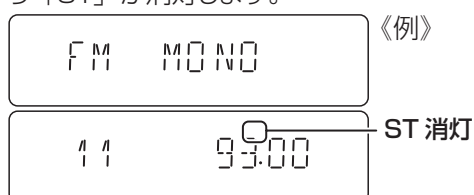


ステレオ・モノラル受信切り替え

F Mラジオ放送のステレオ放送が聴き取りにくいとき、モノラルにすると聴き取りやすくなります。

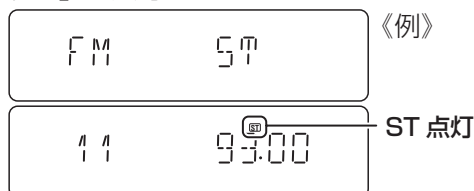
1. リモコンの **MODE** モードボタンを押してステレオからモノラルに切り替える

「FM MONO」と表示したあと、通常表示に戻り「ST」が消灯します。



2. リモコンの **MODE** モードボタンを押してモノラルからステレオに切り替える

「FM ST」と表示したあと、通常表示に戻り「ST」が点灯します。



正しい使いかた（つづき）

外部入力を聴く

デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器を外部入力端子に接続し、本機のスピーカーから音声を出すことができます。

AUX -- IN

1. 本体の SOURCE 入力切替ボタン、リモコンの **AUX** ボタンを押して外部入力に切り替え、音量の設定を最小にする

- 機器の接続・取りはずしのときは、必ず音量つまみ、またはリモコンの **(VOL+)** 音量ボタンで音量を最小にします。

※ リモコンの **(MUTE)** 消音ボタンは使用しないでください。

2. 本体裏側の外部入力端子に、外部機器を接続する

- 接続コードは別売です。接続する外部機器に合った市販品をご購入ください。
- 本機の外部入力端子は RCA 端子です。

※ レコードプレーヤーはフォノイコライザー搭載の機器以外接続することができません。

3. 外部機器を再生状態にする

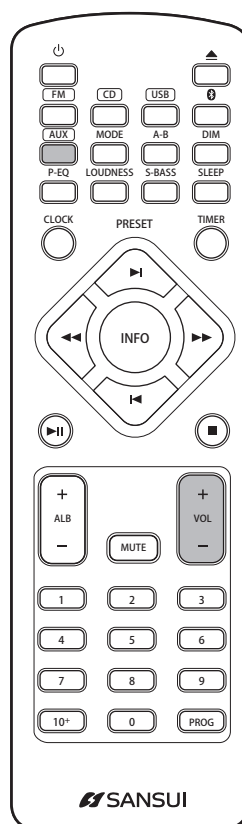
4. 本体の音量つまみまたはリモコンの **(VOL+)** 音量ボタンで、適切な音量に調節する

※ 外部機器の音量が小さい場合、無信号と判断し 15 分でオートパワーオフが働くことがあります。外部機器の音量を上げて、本体側で音量を調節してください。



外部機器の音量調節は慎重に行なう。
小さすぎると適正な音量が出力されません。また大きすぎると過大入力信号となり本機が壊れることがありますので、ご注意ください。

5. 外部機器を取りはずすときは、必ず音量を最小にする



便利な使いかた

本機は、内蔵時計を利用して便利に使うことができます。

スリープタイマーを使う

スリープタイマーで設定した時間後に電源を切る(スタンバイ状態) ことができます。

1. リモコンの **(SLEEP)** スリープボタンを押してスリープタイマーを設定する

ディスプレイ部に「SLEEP--OFF」が表示され、**(SLEEP)** スリープボタンを押すたびに「SLEEP--」の右側が OFF → 120 → 90 → 60 → 45 → 30 → 15 → OFF (単位は分) と切り替わります。設定した時間後に電源が切れます。

2. 再度設定するとき、キャンセルするときは、リモコンの **(SLEEP)** スリープボタンを押して「SLEEP--」の右側の数値を変更する

(SLEEP) スリープボタンを押して、数値を設定しなおします。

- ・スリープタイマーをキャンセルするときには、OFF に設定します。

オンタイマーを使う

設定した時間に自動で電源を入れて、設定したモード(FM/CD/USB)の音を設定した音量で再生(演奏)させることができます。

1. オンタイマーを使う前に、現在時刻を設定しておく

現在時刻が設定されていないと、オンタイマーは使用することができません。

「時計を合わせる」(→ 10 ページ)

2. スタンバイ状態で **(TIMER)** タイマーボタンを長押ししてオンタイマーを設定する

「TIMER SET」と表示されます。

TIMER SET

3. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタン、またはリモコンの各入力ボタン(**(FM)**、**(CD)**、**(USB)**)を押して、再生するモードに設定する

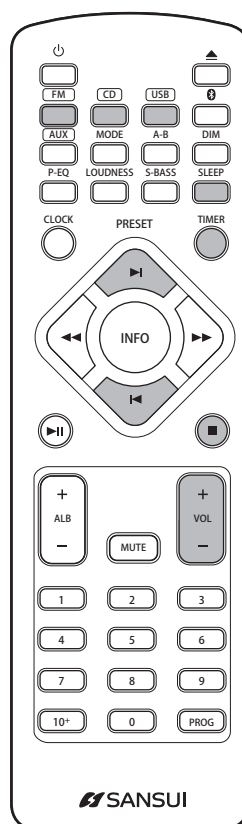
BT、AUX は設定できません。

DISC

《例》

SLEEP--OFF

SLEEP--120 ^{SLEEP}



便利な使いかた（つづき）

FM に設定したとき

- 最後に選局した FM 局の音声流れます。

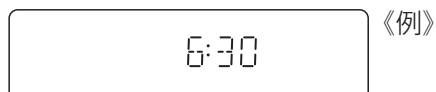
DISC に設定したとき

- CD トレイに入れているディスクの最初の曲から再生されます。MP3/WMA が記録された CD でも同様で、最初に再生される曲から再生されます。

USB に設定したとき

- CD 同様、USB メモリーを接続して最初に再生される曲から再生されます。
- DISC/USB が再生されないときは FM の音声流れます。

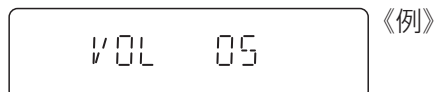
4. スキップ+ボタン・ スキップ-ボタン、 タイマーボタンで時・分を設定する



- 「時」を設定後、 タイマーボタンを押すと「分」を設定することができます。
 - 本体の音量つまみ、リモコンの  音量ボタンでも数値の増減をすることができます。
 - 「分」を設定後、 タイマーボタンを押すと「音量」を設定することができます。
- ※設定をやめるときは  停止ボタンを押す、または90秒以上そのままにしておきます。

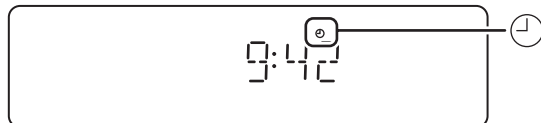
5. スキップ+ボタン・ スキップ-ボタンで音量を設定する

- 本体の音量つまみ、リモコンの  音量ボタンでも数値の増減をすることができます。
- オンタイマーが実行されたときの音量を設定します。
- オンタイマーが実行されたとき音量は設定した音量まで徐々に上がります。



6. タイマーボタンを押してタイマー設定する

 タイマーボタンを押して、ディスプレイ部にタイマーマークを表示させます



7. オンタイマーをオフにするには、 タイマーボタンをもう一度押す

 タイマーボタンを押して、ディスプレイ部のタイマーマークを消灯させます。



- オンタイマーの音量調節は慎重に行なう。
- 設定する再生するモードに気をつける。

お手入れのしかた



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

スピーカーのお手入れ

スピーカーの汚れは、カメラのレンズ清掃用のブローブラシなどを使い、軽くブラシ部分でホコリをはらってください。



注意

- ベンジン・シンナーでは拭かない。
変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。

※ 本機のスピーカーの前面は、取りはずすことができません。

修理・サービスを依頼する前に

⚠ 警告 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない	・ 電源コードがはずれている	電源コードを本体の電源端子に、電源プラグをコンセントにきちんと接続する
音が出ない	・ 入力切替が目的の機能に設定されていない	入力切替ボタンを押して切り替える
	・ スピーカーケーブルが正しく接続されていない	正しく接続する（スピーカーケーブルの心線（導線）部分と被膜部分に注意する）
雑音が入る	・ 近くで電波など発する機器（携帯電話など）を使用している	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
電源が自動でオフになる	・ オートパワーオフ機能	本機では再生が停止または一時停止された状態で 15 分以上操作しないと電源が自動でオフになります。（10 ページ）
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす
CD 部		
演奏が始まらない	・ CD トレイが閉じられていない	CD トレイを閉じる
	・ CD が裏返しにセットされている	ラベル面を上にしてセットする
	・ CD の汚れがひどい	クリーニングをする
	・ CD-R/RW がファイナライズされていない	ファイナライズを実行する
	・ CD が著作権保護技術でエンコードされている	ディスクによっては再生できない
	・ 入力切替が CD に設定されていない	入力切替ボタンで CD に切り替える
	・ 結露状態になっている	露のつかない場所に移動し、結露を乾燥させる
音がとぶ	・ 振動がある	振動をなくす
	・ CD に大きなキズがある	CD を修復する
MP3/WMAを読み取らない	・ フォーマットが違う	ISO9660でフォーマットして書き込む
	・ 焼いたセッションが違う	MP3/WMAのCDは1度にすべてを焼く（マルチセッションに対応しません）
	・ 拡張子「.mp3」「.wma」が付いていない	拡張子「.mp3」「.wma」を付ける
USB 部		
充電できない	・ 故障ではありません	USB 機器の充電には対応していません
MP3/WMAを読み取らない	・ フォーマットが違う（NTFS・HFSなど）	FAT32でフォーマットして書き込む
USBを認識しない	・ USBハブなど介して接続している	本体に直接接続する
	・ HDDを接続している	USBメモリーを使用してください
FM ラジオ部		
雑音が入る	・ テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	・ 電波状態が悪い	窓際などで試してみる
	・ アンテナが正しく接続されていない	正しく接続する

症状	主な原因	処置
外部入力部		
音が小さい	• レコードプレーヤーをつなげている（フォノ端子）	フォノアンプを介して接続する
	• 接続している機器の音量が小さい	接続している機器の音量をあげる
Bluetooth 部		
音が出ない	• Bluetooth 機器との距離が長い	近くで使用する
	• 無線 LAN や電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	• 正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
	• SCMS-T の送信	本機は SCMS-T に対応していません
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	• Bluetooth の通信遅延	状態によって Bluetooth では若干遅れることがあり、必ず映像と音声を一致させるには外部入力端子に音声を接続する
ペアリングできない	• Bluetooth 機器との距離が長い	より近づけてペアリングしてみる
	• Bluetooth 機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる
	• 先に別の Bluetooth 機器が接続されている	別の Bluetooth 機器が接続されていないか確認する
リモコン部		
リモコンで操作できない	• 電池が消耗している	新しい電池に交換する
	• 操作する距離が長い	近いところで操作する

主な仕様

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	20W（動作時。待機時 0.5W 未満）
実効出力(RMS・THD10%)	10W + 10W
対応 CD	CD/CD-R/CD-RW ISO9660 準拠フォーマット
USB 規格	Ver.2.0 最大 32GB FAT32 最大ファイル数 99、最大フォルダー数 99
Bluetooth	Ver.4.0+EDR Class2 プロファイル A2DP（SCMS-T 非対応）
チューナー	アナログチューナー FM: 76-108MHz ステレオ対応
スピーカー	10cmフルレンジ(W-RPM和紙二重抄紙スピーカー)×2 最大入力20W(4Ω)
外部入力端子	L/R 独立ピン端子、チューナー用アンテナ端子、USB 端子
外形寸法	本体：(約) 幅220×奥行270×高さ95mm スピーカー：(約) 幅140×奥行170×高さ235mm
質 量	本体：約 1.5kg、スピーカー約 1.4kg（1 本）

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

長年ご使用のCDステレオシステムはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤ福井A&Vサービスセンターに点検をご相談ください。

MEMO